

令和6年6月7日

市内中学校における理科実験中の事故の発生について

三次市立三次中学校において、令和6年6月6日(木)午前中の2年生理科の授業で実験をしていたところ、生徒3名が負傷する事案が生起しました。

関係者の皆様には、多大なご心配をおかけしたことについて、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 事実経過

令和6年6月6日(木)2時間目の2年生理科の授業(教室内生徒33名)で酸化と還元について学習する実験を行いました。実験中、熱した銅板を容器に入れたエタノールに浸けて還元される様子を確認する際、エタノールに引火し、その容器ごと落下した際に、3名の生徒が負傷しました。

2 事案後の対応

1名の生徒は、救急搬送し、左足ふくらはぎのⅡ度熱傷と診断されました。他2名の生徒も受診をしたところ、1名が軽度の熱傷、1名が捻挫という診断でした。当該3名の生徒は、治療を受けた後、帰宅しました。

学校からは、対象生徒と保護者へ謝罪を行い、全生徒保護者あてに文書で事故の説明をするとともに、6月7日(金)18時から保護者説明会を開催する旨を案内しています。

なお、当該3名の生徒は、本日登校しています。

3 再発防止策

教育委員会としては、当該校に対し、教育活動の安全管理について、徹底を行うよう指導します。

あわせて、市内の全学校に、同様の実験を行う際の、児童生徒の安全対策に万全を期すよう指導します。

4 その他

プライバシー保護の観点から、学校や各個人への直接的な取材はお控え下さい。ご不明な点がございましたら、下記までご連絡下さい。



広島県三次市

教育委員会 教育部 学校教育課 (担当:藤本)

TEL:0824-62-6187 FAX:0824-62-6288